

消費生活相談室

質屋による年金担保融資

内容

認知症の高齢者が安価な時計などを質屋に入れてお金を借りているようだ。詳しく話をきいてみると、年金支給日に質屋に行き通帳を見せて、毎回10万円前後の融資を受けているという。また、金利と元金は銀行の代金回収サービスを利用して、全く知らない第三者名で引き落とされている。当人は借り入れをしなくても十分生活可能である。

ひとこと助言

- ・上記の相談は別の行政サービスを通じて相談があった事例で、判断能力が不十分な高齢者などを狙った悪質な融資商法です。本人が被害に気付いていない場合が多いため、家族などが協力し、消費者被害にあわないように見守ることが大切です。
- ・心配なときは、消費生活相談窓口にご相談ください。

小都市消費生活 相談室

▶窓口開設日

毎週月・火・木・金曜日
／午前9時～正午、
午後1時～4時

▶問合せ先

小都市消費生活相談室
72-2111内線144



こちら119

救急車の適正利用について

その救急車、本当に必要ですか？

久留米広域消防本部管内(久留米市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町)の平成23年中の救急出動件数は16,602件で、前年よりも624件(3.9%)増加しました。1日平均45.5件、約32分に1件の割合で救急車が出動しています。16,602件のうち、実際に医療機関に搬送された人は15,897人で、そのうち8,277人(52.1%)が軽症でした。

救急車は数が限られているため、出動回数が増えることで、最寄の消防署に救急車がいなくなり、1分1秒を争う重傷者への対応が遅れてしまうこともあります。

一刻も早い治療が必要な人のために、救急車の適正利用にご協力ください。

こうしたケースで救急車が呼ばれました～本当に必要か考えてみましょう～

- ・蚊に刺されてかゆい。
- ・海水浴に行って日焼けした足がヒリヒリする。
- ・紙で指先を切った。血は止まっているが…
- ・病院でもらった薬がなくなった。
- ・今日入院予定日だから、病院に行きたい。
- ・ヘルパーを呼んだが来てくれなかつたので、代わりに救急車を呼んだ。
- ・病院で長く待つののが面倒なので、救急車を呼んだ。

(総務省消防庁ホームページより)

なお、緊急に病院へ搬送しなければならない場合で、救急車以外に搬送する手段がない場合は、迷わず119番通報をしてください。



皆様のご理解とご協力を願いします。